

NPO法人ソーシャルベンチャー・パートナーズ東京
20周年アンケート結果報告書

2024.11

調査設計	3
アンケート結果のサマリー	4
協働先アンケート結果	5
パートナーアンケート結果	19

協働先アンケート

調査目的 : 過去協働団体の協働当時と現在の実態や意識を把握し、協働先団体およびSVP東京の変化を確認する。
また、協働先にとってのSVP東京の価値を確認し、今後の活動に資する。

調査方法 : インターネットアンケート

設問数 : 24問

回答対象 : SVP東京の過去協働団体
(2005年～2021年採択団体)

サンプル数 : 56s

パートナーアンケート

調査目的 : パートナー経験者のSVP東京での活動や協働の実態・意識を把握し、パートナーにとってのSVP東京の価値と変化を把握し、今後の活動に資する。

調査方法 : インターネットアンケート

設問数 : 31問

回答対象 : SVP東京のパートナー経験者
(2003年～2023年)

サンプル数 : 132s

実施時期 : 2023年7月～8月

実施機関 : NPO法人ソーシャルベンチャー・パートナーズ東京

実施協力 : 水谷衣里 (株式会社 風とつばさ)

【協働先アンケート】

- ◆ 協働先がSVPに応募したきっかけは、協働開始時の事業規模が1000万円未満では「その他の知り合いから勧められて」、1000万円以上では「SVP東京のパートナーから勧められて」がそれぞれ最も高い。
- ◆ 協働した内容は、「経営戦略・中期事業計画策定」が73%で最も高く、次いで「マーケティング・営業支援」「資金調達・ファンドレイズ」「組織体制整備・カバナンズ」がそれぞれ50%で続く。
- ◆ 協働において、特に成果があったことや価値があったこと（TOP3）としては、協働開始時の事業規模が1000万円未満では「代表者本人の精神的な支えになった」「人脈やネットワークが形成された」「経営戦略・計画の策定ができた」がそれぞれ42%で最も高く、1000万円以上では「代表者以外の経営陣やスタッフの成長に寄与した」が51%で最も高かった。
- ◆ 協働開始時の事業規模は51%が1000万円未満で、1億円以上は4%だったが、現在の事業規模は1000万円未満は18%、1億円以上が30%と成長しており、スタッフ数も増加している傾向。

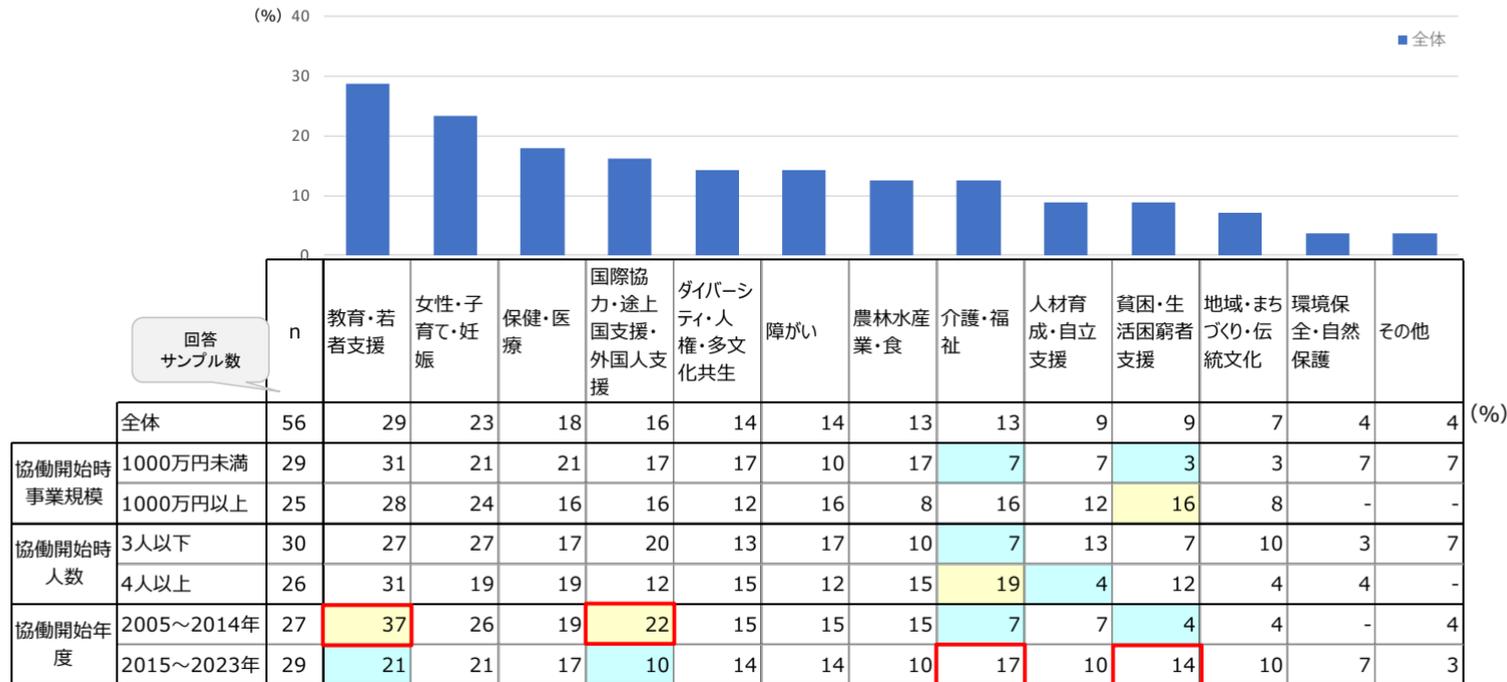
【パートナーアンケート】

- ◆ 回答パートナー経験者のSVP東京加入時の年齢は30代（42%）、社会人経験は「11～20年」（33%）が最も高い。現在の職業は、現パートナーは「事業開発/経営企画」が22%で最も高く、卒業パートナーは「経営者/役員（ビジネスセクター）」が20%で最も高い。全体では「コンサルタント（ビジネス）」も1割を超える。
- ◆ SVP東京加入の理由は「社会課題の解決に貢献したいから」が87%で最も高い。
- ◆ SVP東京での活動による自身の成長や変容としては「多様な・幅広い視点の獲得」（96%）が最も高く、「社会課題解決への貢献」（77%）より高い。
- ◆ SVPの活動の難しさや不満としては、「本業との両立」（64%）、「本業以外（家庭や学業等）との両立」（51%）、「自らのスキルが不足」（50%）が上位。

協働先アンケート結果

- ◆ 社会課題は「教育・若者支援」「女性・子育て・妊娠」「保健・医療」の順で高い。
- ◆ 協働開始年度2014年以前は「教育・若者支援」「国際協力・途上国支援・外国人支援」、2015年以降は「介護・福祉」「貧困・生活困窮者支援」が高くなっている。

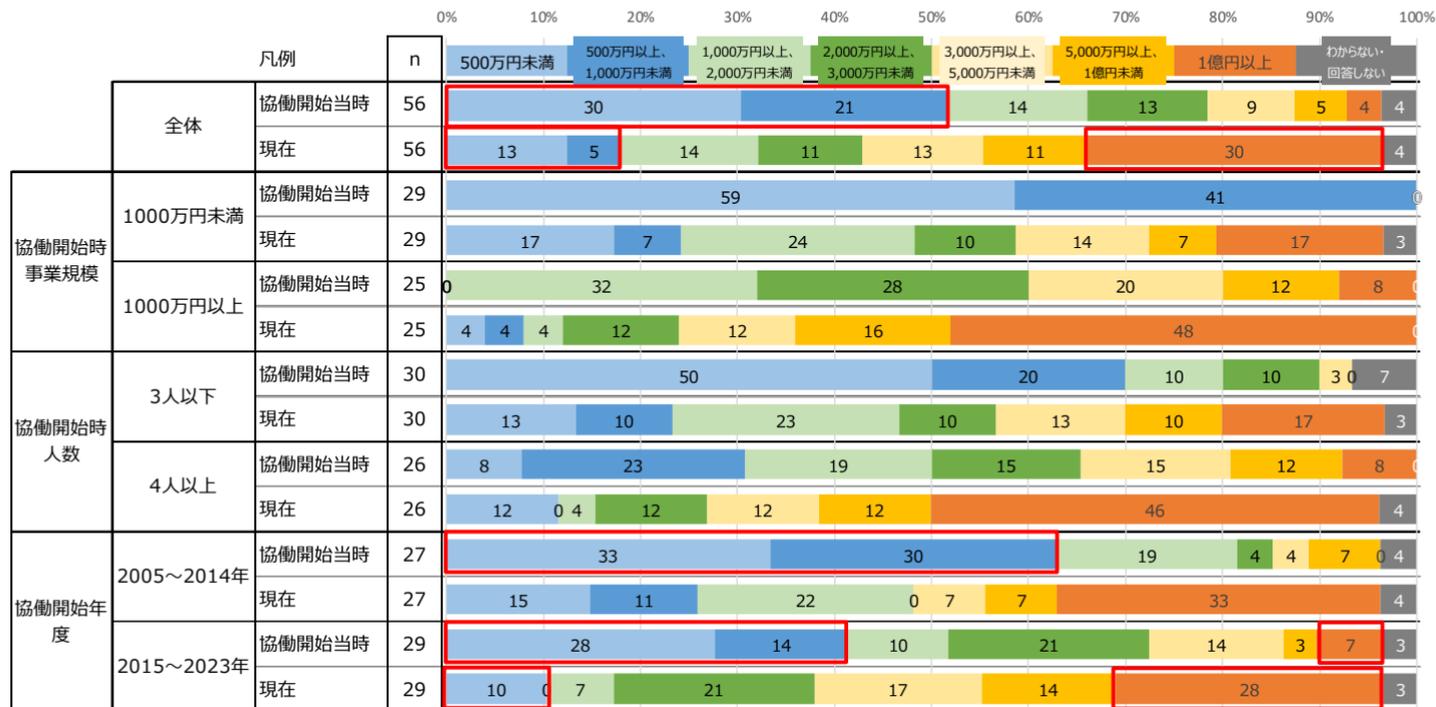
Q2_貴団体の取り組む社会課題領域に一番近いと思われる選択肢を最大2つまでお選びください。(MA2)



- ◆ 事業規模は1000万円未満が協働開始時は51%だが、現在は18%と減少し、1億円以上が4%から30%へと大きく増えている。
- ◆ 協働終了から時間が短い2015年以降で見ても、1000万円未満は42%から10%に減少し、1億円以上が7%から28%へと増えている。
- ◆ 2014年以前の方が協働開始時1000万円未満の割合が高いが、現在は1億円以上の割合が2015年度以降より高い。

Q4_1_SVP東京との協働が開始した年度、および今年度（2023年度）の事業規模を教えてください。【協働開始当時】（SA）

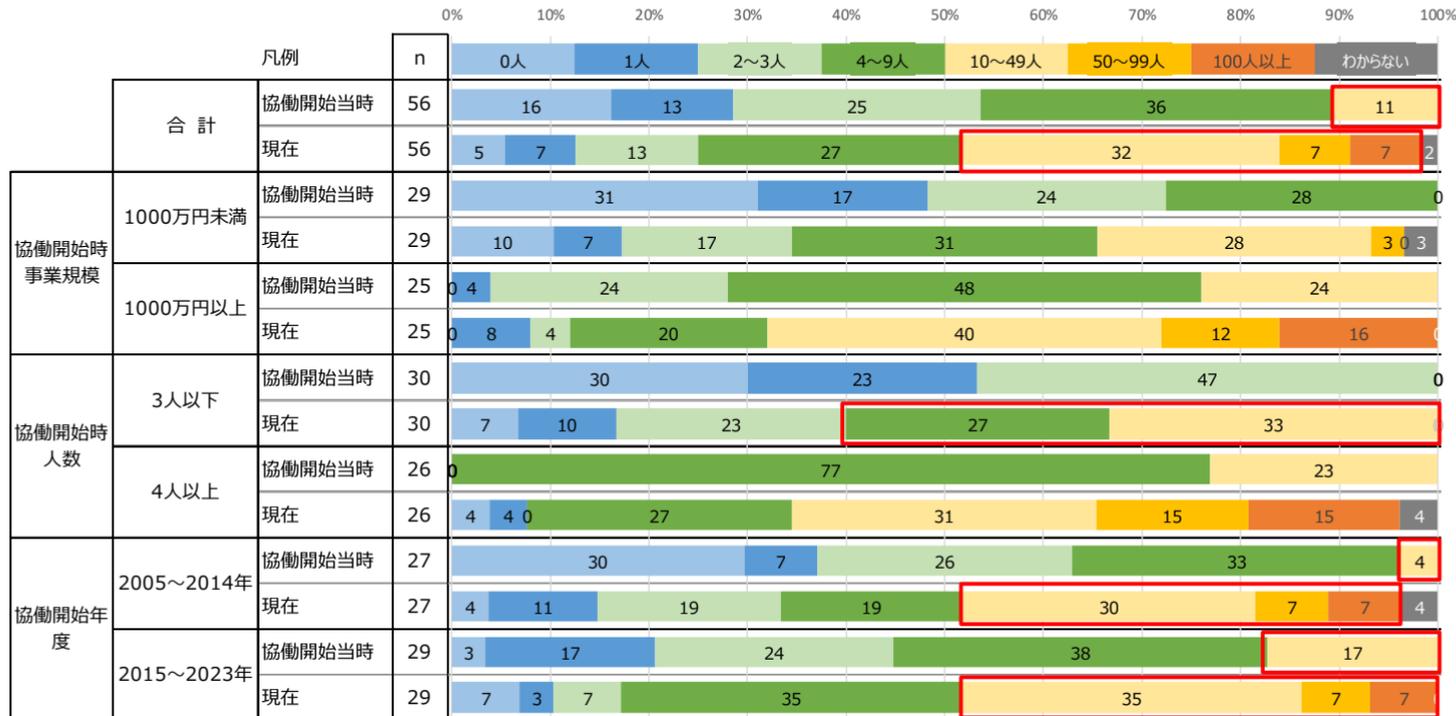
Q4_2_SVP東京との協働が開始した年度、および今年度（2023年度）の事業規模を教えてください。【現在】（SA）



- ◆ 有給スタッフの数は、10人以上が協働開始時の11%から46%に増加。
- ◆ 協働開始時に3人以下だった団体は60%が4人～49人に成長している。
- ◆ 2014年以前は10人以上が4%から44%へ、2015年以降も17%が49%へ増加している。

Q5_1_SVP東京との協働が開始した当時と現在の、有給スタッフの数をそれぞれ教えてください。【協働開始当時】(SA)

Q5_2_SVP東京との協働が開始した当時と現在の、有給スタッフの数をそれぞれ教えてください。【現在】(SA)



- ◆ 回答者の現在の役職は82%が代表・CEO。協働開始当時の役職が代表・CEOは70%で、12%は協働開始後に代表・CEOとなっている。
- ◆ 事業規模の大きい団体ほど代表・CEO以外だった人が回答している率が高く、協働の主なカウンターパートも代表以外であった率が高いことが察せられる。

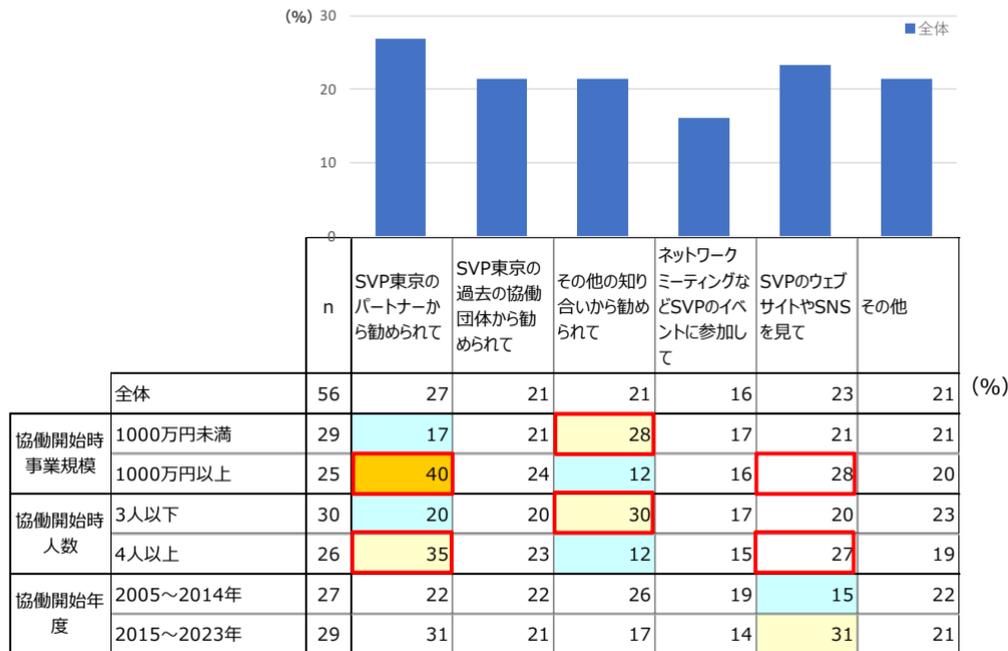
Q7_1_SVPとの協働当時と現在の、あなたの団体での役職や立場を教えてください。【協働開始当時】(SA)

Q7_2_SVPとの協働当時と現在の、あなたの団体での役職や立場を教えてください。【現在】(SA)



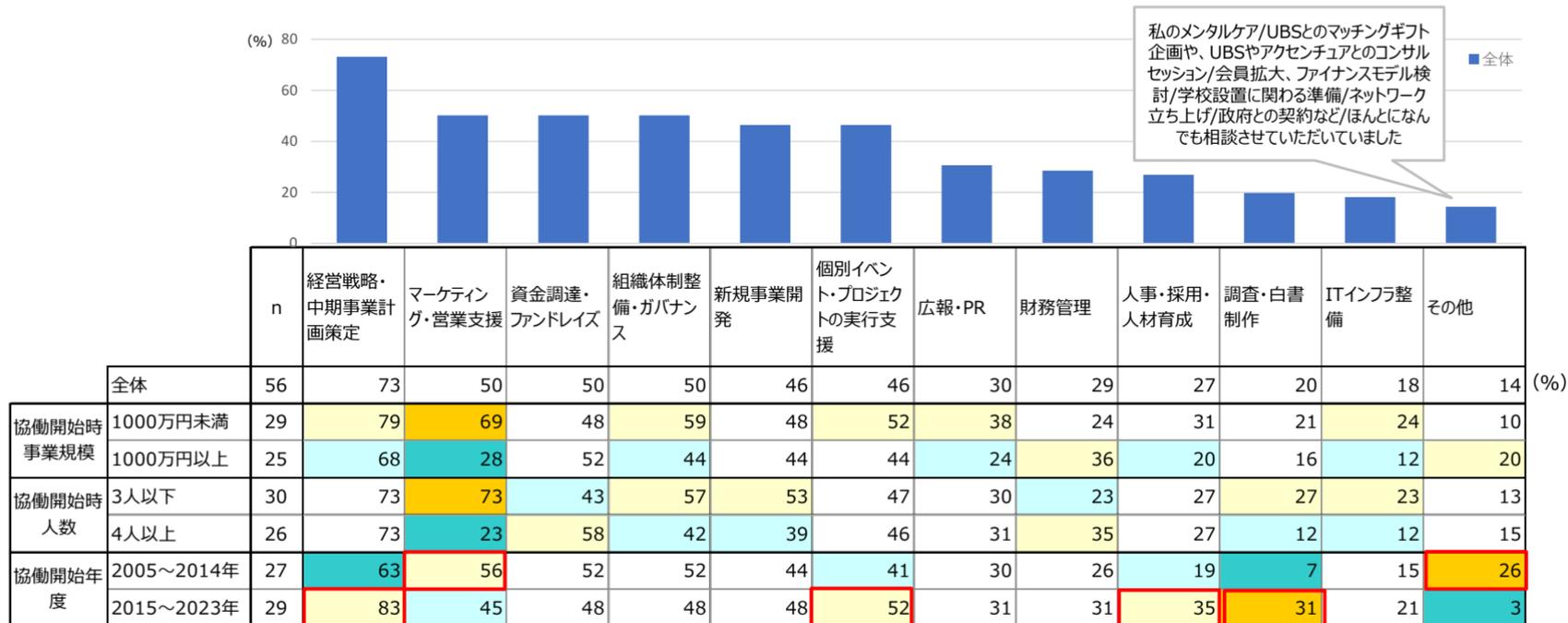
- ◆ SVP応募のきっかけは、全体では「SVP東京のパートナーから勧められて」が最も高い。
- ◆ 1000万円未満/3人以下では「その他の知り合いから勧められて」が最も高く、1000万円以上/4人以上では「SVP東京のパートナーから勧められて」「SVPのウェブサイトやSNSを見て」が高い。

Q9_SVP東京に応募したきっかけは何でしたか？以下のうち、あてはまるものを全てお選びください。（MA）



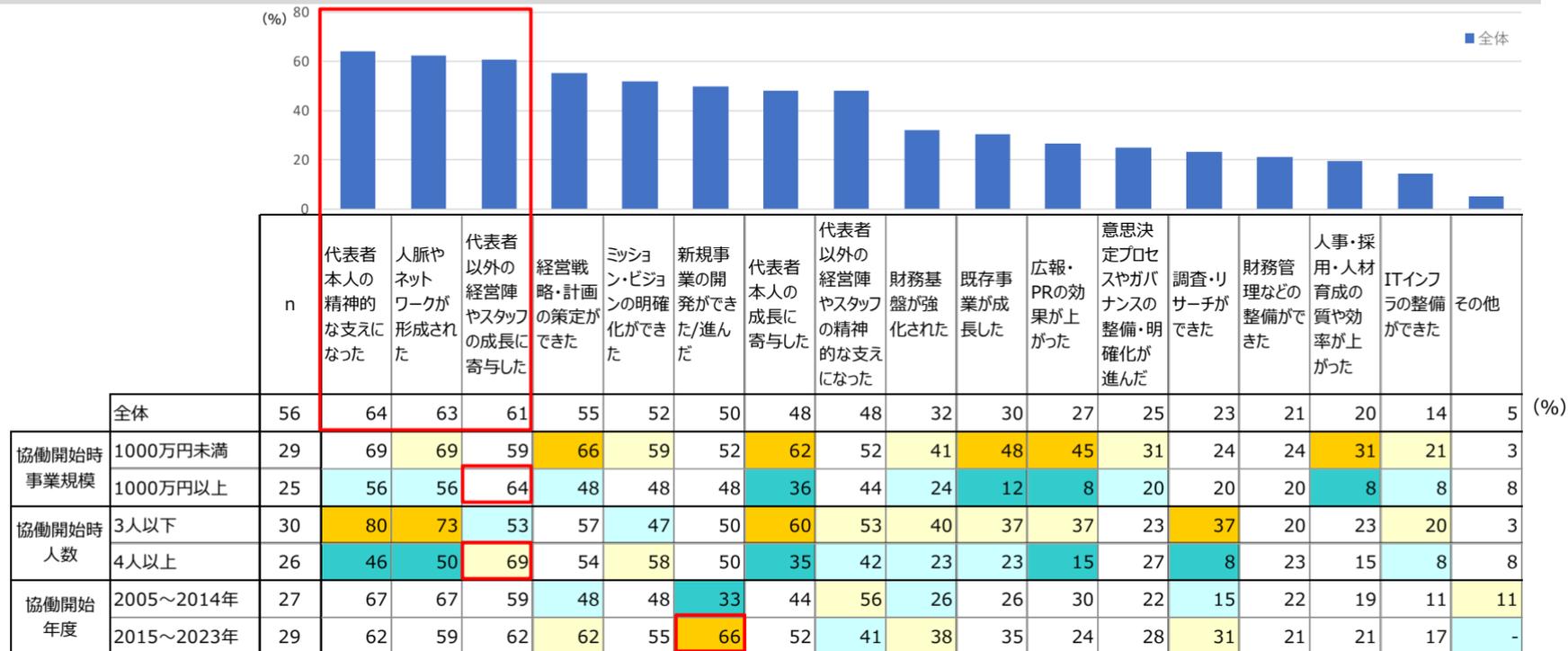
- ◆ 協働内容は、「経営戦略・中期事業計画策定」が最も高く、「マーケティング・営業支援」「資金調達・ファンドレイズ」が続く。
- ◆ 1000万円未満/3人以下は1000万円以上/4人以上よりも協働内容が多い傾向。特に「マーケティング・営業支援」が高い。
- ◆ 2014年以前は「マーケティング・営業支援」「その他」、2015年以降は「人事・採用・人材育成」「調査・白書作成」などが高い。

Q11_SVPとはどのような協働をされましたか？あてはまるものを全てお選びください。(MA)



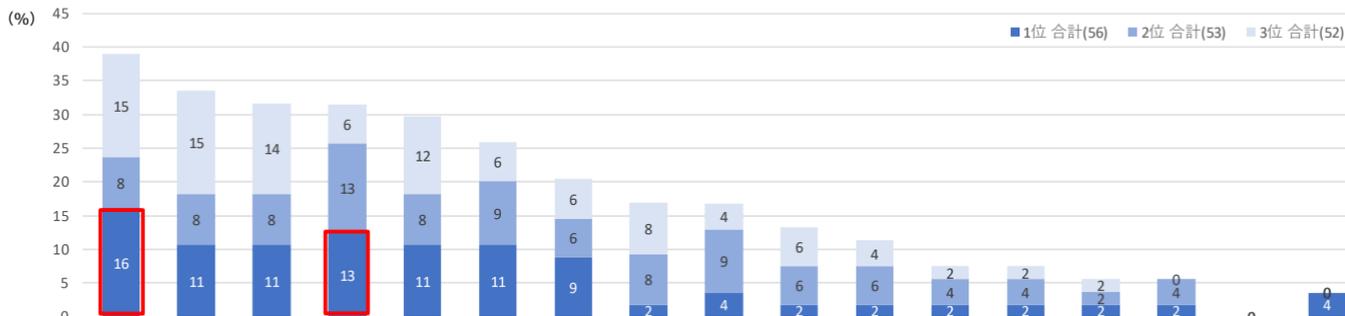
- ◆ 協働の成果・価値としては、「代表者本人の精神的な支えになった」「人脈やネットワークが形成された」「代表者以外の経営陣やスタッフの成長に寄与した」など、人に関連した部分が上位となった。1000万円未満/3人以下の団体の方が成果・価値が多い傾向。
- ◆ 1000万円以上/4人以上では「代表者以外の経営陣やスタッフの成長に寄与した」、2015年以降は「新規事業の開発ができた/進んだ」が最も高い。

Q12_SVP東京との協働において成果があったことや、価値があったと思うことを、全てお選びください。(MA)



- ◆ 協働の成果・価値の上位3位の合計では、1-2位はMAと変わらないが、3位は同率で「新規事業の開発ができた／進んだ」「ミッション・ビジョンの明確化ができた」となった。
- ◆ 1位のみでは「代表者本人の精神的な支えになった」が変わらず最も高いが、ついで「ミッション・ビジョンの明確化ができた」が高い。

Q13_1_SVP東京との協働において成果や価値があったと思われた内容のうち、特に価値があったと思うものの順位を1位から3位まで教えてください。（各SA）



n	代表者本人の精神的な支えになった	人脈やネットワークが形成された	新規事業の開発ができた/進んだ	ミッション・ビジョンの明確化ができた	代表者以外の経営陣やスタッフの成長に寄与した	経営戦略・計画の策定ができた	財務基盤が強化された	既存事業が成長した	代表者以外の経営陣やスタッフの精神的な支えになった	代表者本人の成長に寄与した	調査・リサーチができた	財務管理などの整備ができた	ITインフラの整備ができた	広報・PRの効果が上がった	意思決定プロセスやガバナンスの整備・明確化が進んだ	人事・採用・人材育成の質や効率が上がった	その他	
1位 合計(56)	16	11	11	13	11	11	9	2	4	2	2	2	2	2	2	2	-	4
2位 合計(53)	8	8	8	13	8	9	6	8	9	6	6	4	4	2	4	-	-	
3位 合計(52)	15	15	14	6	12	6	6	8	4	6	4	2	2	2	-	-	-	
1-3位 合計(56)	39	34	32	32	30	26	20	17	17	13	11	8	8	6	6	0	4	

- ◆ 協働の成果・価値の上位3位の合計を詳細でみると、事業規模1000万円未満は「人脈やネットワークが形成された」「経営戦略・計画の策定ができた」「既存事業が成長した」が全体より高く、1000万円以上は「ミッション・ビジョンの明確化ができた/進んだ」「代表者以外の経営陣やスタッフの成長に寄与した」が高い。
- ◆ 2014年以前の方が2015年以降よりも「代表者本人の精神的な支えになった」や「人脈やネットワークが形成された」が20pt.以上高い。

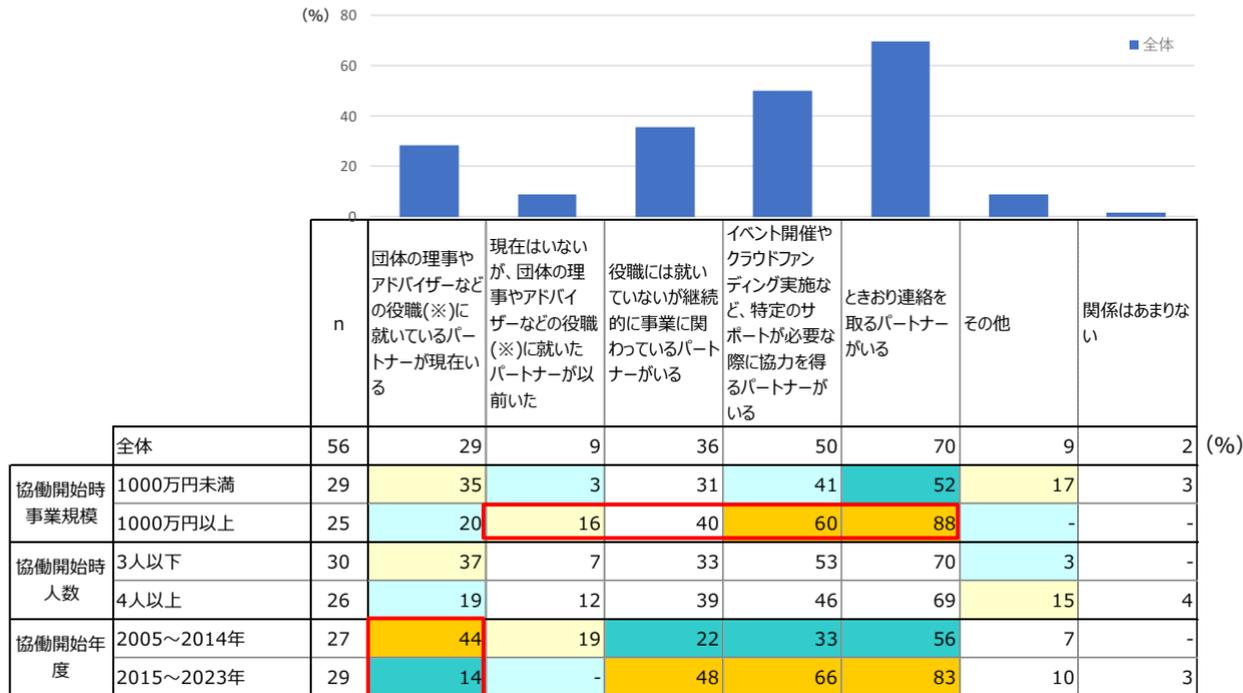
Q13_SVP東京との協働において成果や価値があったと思われる内容のうち、特に価値があったと思うものの順位を1位から3位まで教えてください。【1-3位計】



	n	代表者本人の精神的な支えになった	人脈やネットワークが形成された	新規事業の開発ができた/進んだ	ミッション・ビジョンの明確化ができた	代表者以外の経営陣やスタッフの成長に寄与した	経営戦略・計画の策定ができた	財務基盤が強化された	既存事業が成長した	代表者以外の経営陣やスタッフの精神的な支えになった	代表者本人の成長に寄与した	調査・リサーチができた	財務管理などの整備ができた	ITインフラの整備ができた	広報・PRの効果が上がった	意思決定プロセスやガバナンスの整備・明確化が進んだ	人事・採用・人材育成の質や効率が上がった	その他	
全体	56	39	34	32	32	30	26	20	17	17	13	11	8	8	6	6	-	4	
協働開始時 事業規模	1000万円未満	29	42	42	28	25	14	42	18	28	18	11	4	7	11	7	4	0	0
	1000万円以上	25	30	22	34	43	51	9	25	4	13	18	17	9	4	4	8	0	8
協働開始時 人数	3人以下	30	50	43	30	20	20	23	23	17	17	17	0	10	10	3	0	0	
	4人以上	26	26	21	34	46	42	29	16	18	17	9	5	17	4	0	8	0	8
協働開始年 度	2005~2014年	27	52	53	25	27	24	29	12	9	29	8	4	4	9	4	4	0	7
	2015~2023年	29	28	17	38	34	34	24	28	24	7	17	17	10	7	7	7	0	0

- ◆ 協働終了後、70%は「ときおり連絡を取るパートナーがいる」。また、「団体の理事やアドバイザーなどの役職に就いているパートナーが現在いる」が29%。1000万円以上の団体の方が現在もパートナーとの関係が多い傾向。
- ◆ 2014年以前は「団体の理事やアドバイザーなどの役職に就いているパートナーが現在いる」が2015年以降よりも30pt高い。

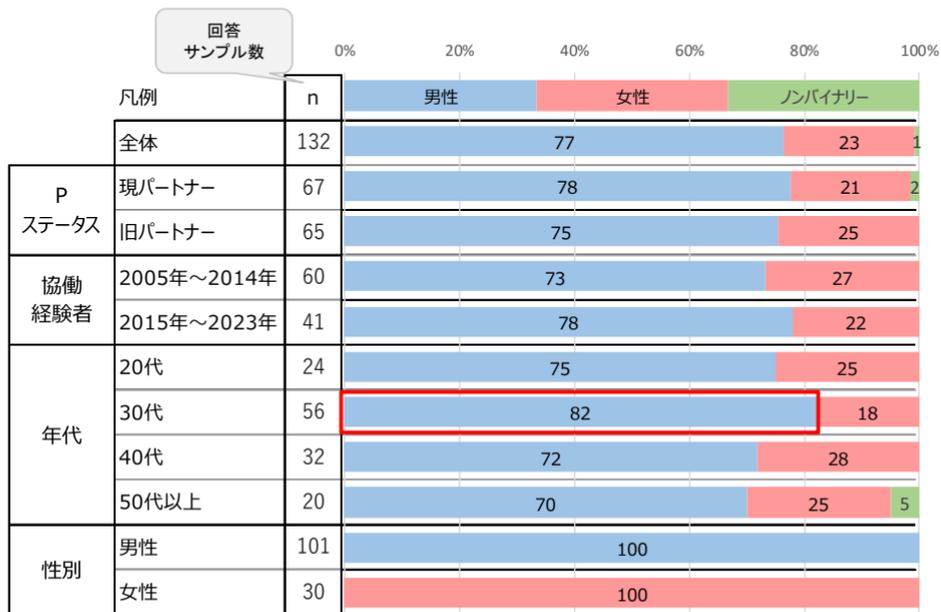
Q20_現在、SVPパートナー（現在SVPIに所属しているパートナーだけではなく、卒業したパートナーも含む）との関係はどうなっていますか？あてはまるものを全てお選びください。（MA）



パートナーアンケート結果

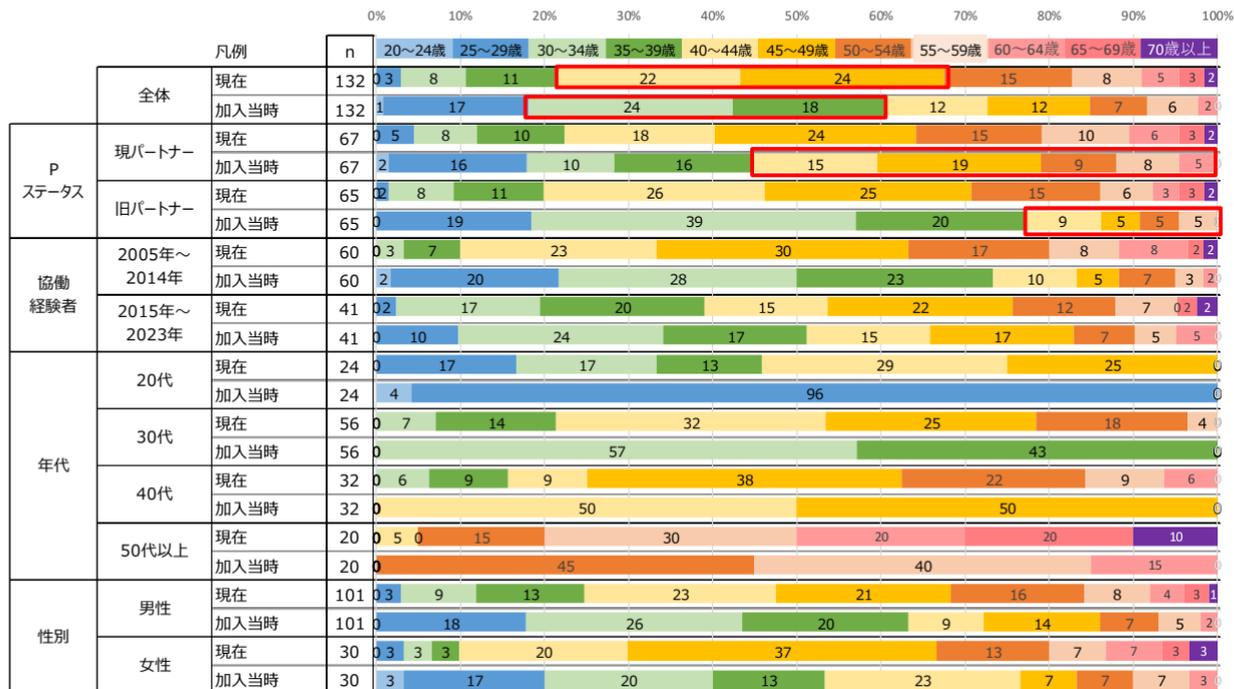
◆ 回答者の性別は77%が男性。30代は男性の割合がさらに高い。

Q2_



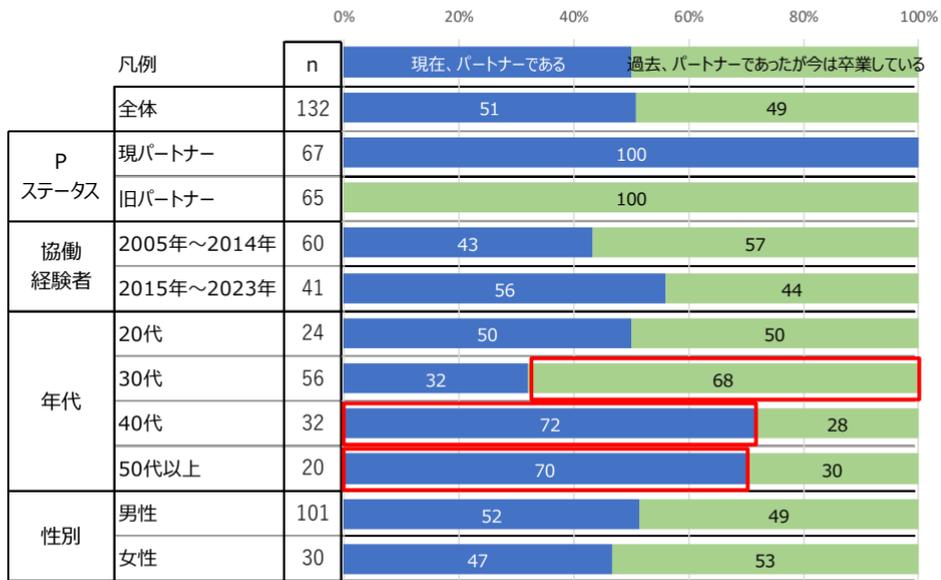
- ◆ 現在の年齢は40代、加入当時の年齢は30代が多い。
- ◆ 現パートナーは加入当時40代以上が5割を超えるのに対し、旧パートナーは2割強に留まる。

Q3_1_現在、およびSVP東京に（最初に）加入したときの年齢を教えてください。【現在】（SA）
 Q3_2_現在、およびSVP東京に（最初に）加入したときの年齢を教えてください。【加入当時】（SA）



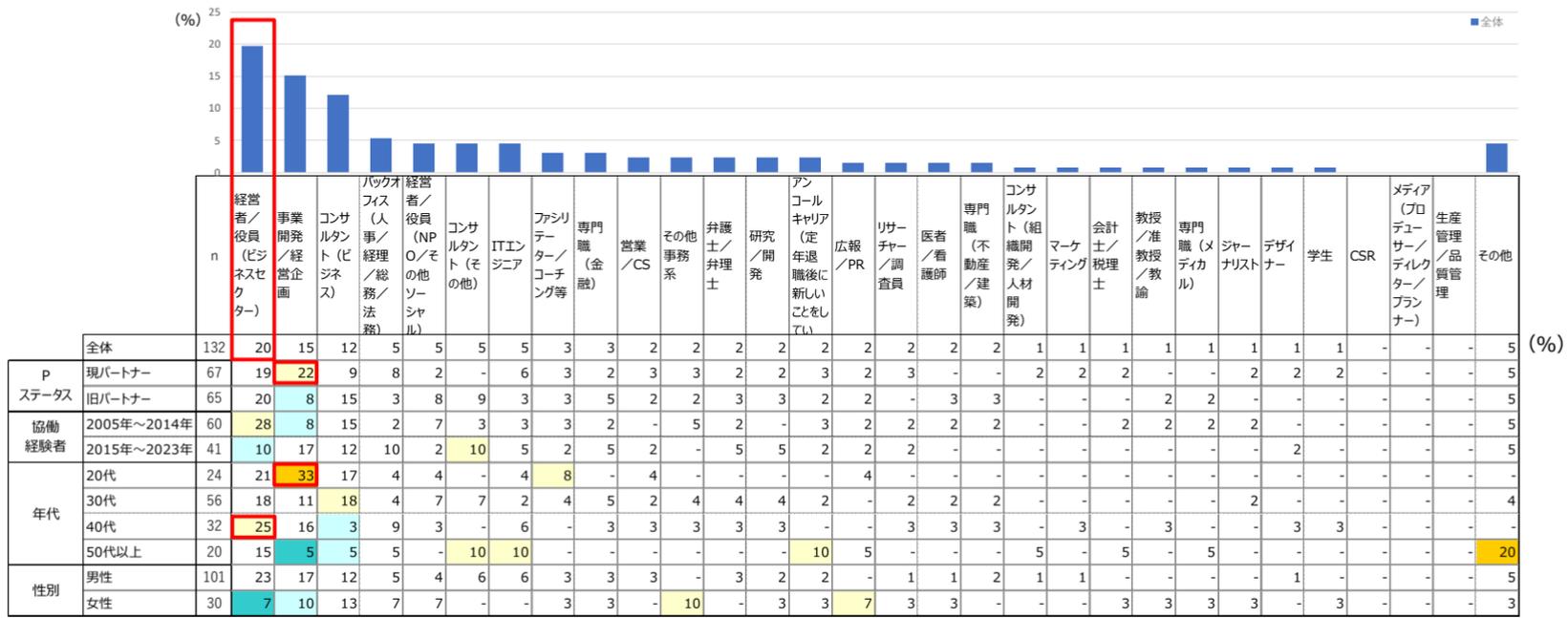
- ◆ 回答者は、現パートナーと旧パートナーがほぼ均等。
- ◆ 加入時年齢30代は旧パートナーの割合が高く、40代以上は現パートナーが高い。

Q6_あなたは現在、SVP東京のパートナーですか？ (SA)



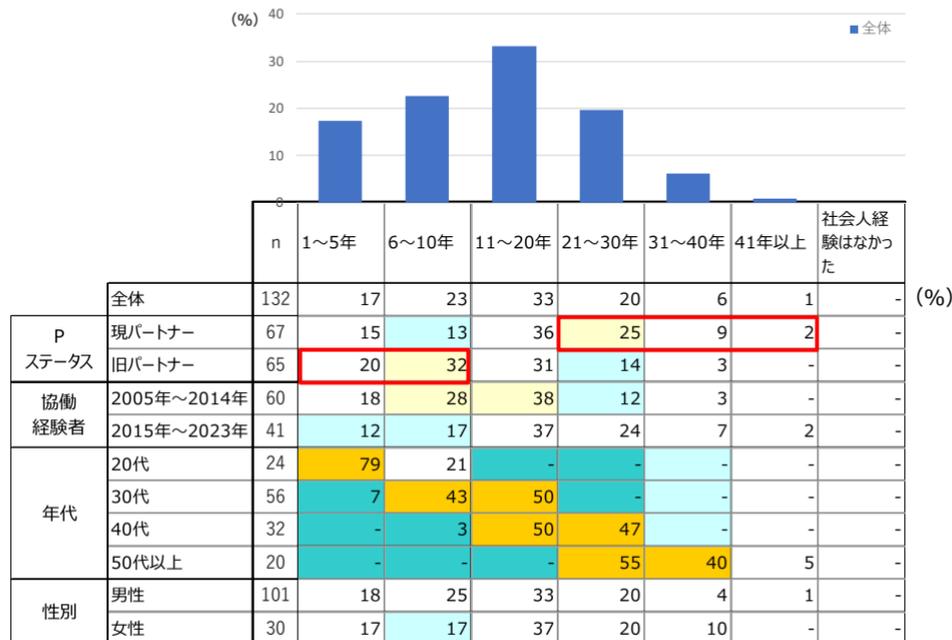
- ◆ 現在の職種では、「経営者/役員（ビジネスセクター）」が20%で最も高い。特に、2014年以前で28%と高い。
- ◆ 現パートナー、加入当時20代では「事業開発/経営企画」が最も高い。

Q4_あなたの現在の職種に最も近いものを一つ教えてください。(SA)



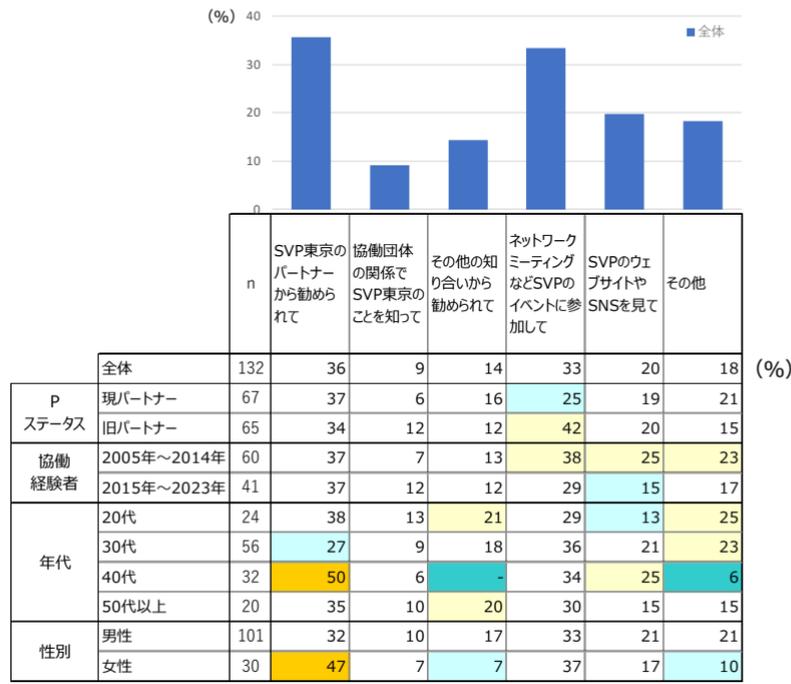
- ◆ 加入時点での社会人歴は「11～20年」が33%で最も高い。
- ◆ 現パートナーの方が旧パートナーよりも社会人歴が長い傾向。

Q5_SVP東京に加入した時点での、あなたの社会人歴をお選びください。(SA)



- ◆ SVP加入のきっかけは「SVP東京のパートナーから勧められて」が36%で最も高く、ついで「ネットワークミーティングなどSVPのイベントに参加して」が33%で続く。
- ◆ 旧パートナー、2014年以前の方は「ネットワークミーティングなどSVPのイベントに参加して」が高い。

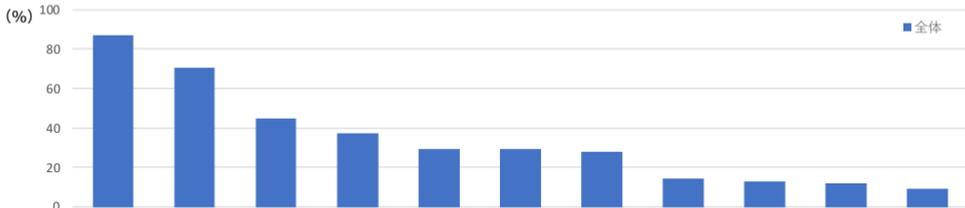
Q11_SVP東京に加入したきっかけは何でしたか？以下のうち、あてはまるものを全てお選びください。(MA)



SVP東京加入の理由 (MA)

- ◆ 加入の理由は、「社会課題の解決に貢献したいから」が87%で最も高い。2015年以降は2014年以前よりも複数の理由で加入している。
- ◆ 加入時の年代別では、20代は「人脈」、30代は「専門性、スキルを活かす」、40代は「視野や知識を広げる」「新しいチャレンジ」などが他の年代より高い。女性は男性よりも複数の理由で加入しており、特に「視野や知識を広げる」「セカンドキャリアを考えて」「一緒に活動したいパートナーがいる」などが男性よりも10pt以上が高い。

Q12_SVP東京に加入することに決めた理由を全てお選びください。(MA)

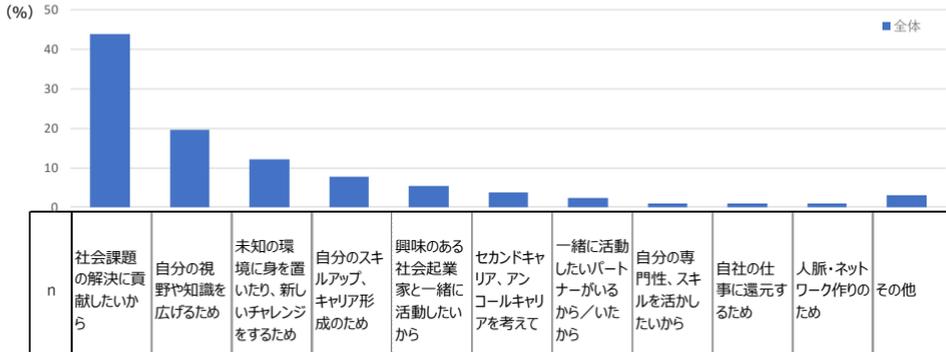


		n	社会課題の解決に貢献したいから	自分の視野や知識を広げるため	未知の環境に身を置いたり、新しいチャレンジをするため	自分の専門性、スキルを活かしたいから	自分のスキルアップ、キャリア形成のため	人脈・ネットワーク作りのため	興味のある社会起業家と一緒に活動したいから	自社の仕事に還元するため	セカンドキャリア、アンコールキャリアを考えて	一緒に活動したいパートナーがいるから/いたから	その他
全体		132	87	71	45	37	30	30	28	14	13	12	9
Pステータス	現パートナー	67	87	73	48	31	31	28	27	15	19	15	9
	旧パートナー	65	88	68	42	43	28	31	29	14	6	9	9
協働経験者	2005年～2014年	60	83	67	35	42	20	25	27	13	7	17	10
	2015年～2023年	41	88	81	56	44	44	37	39	20	15	10	10
年代	20代	24	92	67	38	29	33	38	25	8	17	17	13
	30代	56	88	71	45	52	32	29	32	14	7	13	7
	40代	32	91	78	59	25	34	38	25	22	19	13	9
	50代以上	20	75	60	30	25	10	10	25	10	15	5	10
性別	男性	101	86	68	46	36	29	28	28	13	10	9	8
	女性	30	93	80	43	43	33	37	27	20	23	23	13

SVP東京加入の理由 (SA)

- ◆ 加入を決めた最大の理由は、「社会課題の解決に貢献したいから」が最も高い。50代のみ、「視野や知識を広げるため」が最も高い。
- ◆ 現パートナーは「社会課題の解決に貢献」がやや低くなり、「自分の視野や知識を広げるため」が高くなる。
- ◆ 2015年以降は「未知の環境に身を置いたり、新しいチャレンジをするため」が全体よりやや高い。

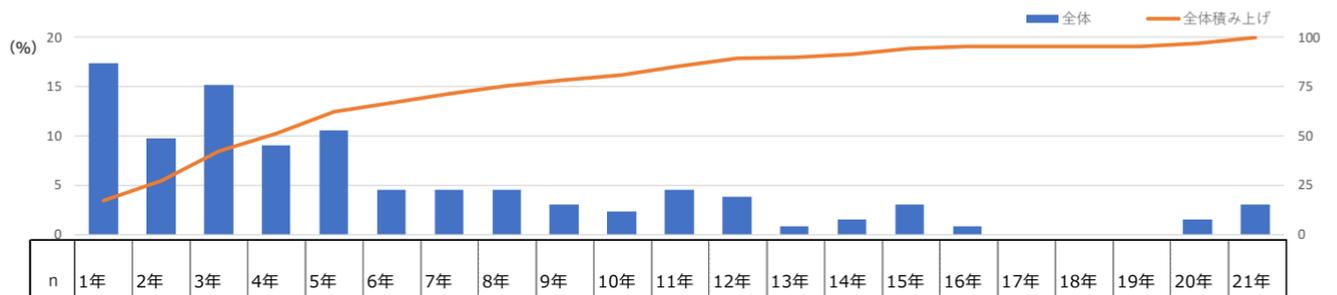
Q13_SVP東京に加入することに決めた理由の内、最も大きな理由を1つ教えてください。(SA)



p ステータス	n	理由 (%)											
		社会課題の解決に貢献したいから	自分の視野や知識を広げるため	未知の環境に身を置いたり、新しいチャレンジをするため	自分のスキルアップ、キャリア形成のため	興味のある社会起業家と一緒に活動したいから	セカンドキャリア、アンコールキャリアを考えて	一緒に活動したいパートナーがいるから/いたから	自分の専門性、スキルを活かしたいから	自社の仕事に還元するため	人脈・ネットワーク作りのため	その他	
全体	132	44	20	12	8	5	4	2	1	1	1	3	
現パートナー	67	39	24	9	8	5	8	3	2	2	-	3	
旧パートナー	65	49	15	15	8	6	-	2	-	-	2	3	
協働経験者	2005年～2014年	60	45	20	10	7	5	3	3	2	-	5	
	2015年～2023年	41	42	15	17	12	7	2	2	-	-	2	
年代	20代	24	46	17	8	4	4	8	4	-	-	8	
	30代	56	48	11	14	16	5	-	2	-	-	4	
	40代	32	44	28	9	-	3	3	3	3	3	-	
	50代以上	20	30	35	15	-	10	10	-	-	-	-	
性別	男性	101	47	19	12	8	5	3	2	-	1	4	
	女性	30	37	23	13	7	3	7	3	3	-	3	

- ◆ 回答者の在籍年数は「1年」が17%で最も高く、ついで（2年間の協働が終了する）「3年」が15%で続く。
- ◆ 積み上げでは、「1年」から「4年」までで5割。

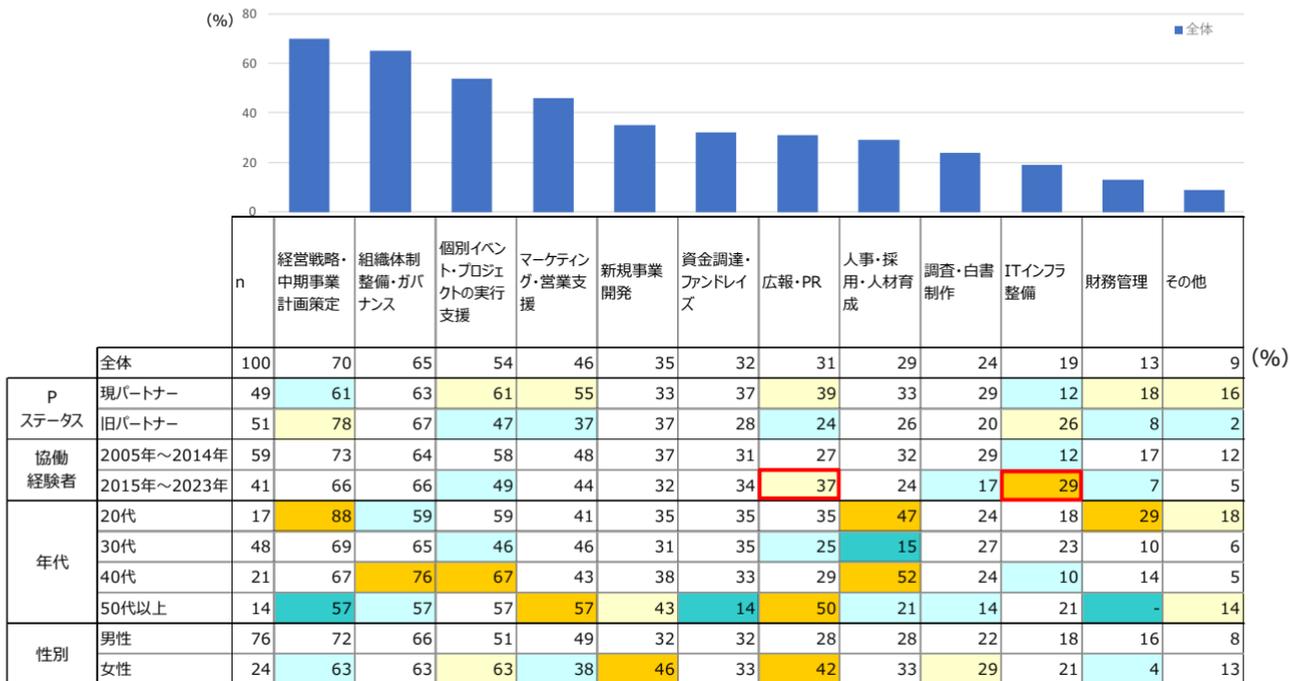
Q7_あなたは、パートナーとして何年在籍していますか？または、在籍していましたか？（SA）



		n	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	
		全体	132	17	10	15	9	11	5	5	5	3	2	5	4	1	2	3	1	0	0	0	2	3
		全体積み上げ	132	17	27	42	52	62	67	71	76	79	81	85	89	90	92	95	95	95	95	95	97	100
p ステータス	現パートナー	67	21	8	5	8	9	5	3	6	5	2	6	5	2	3	6	2	0	0	0	3	6	
	旧パートナー	65	14	12	26	11	12	5	6	3	2	3	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
協働 経験者	2005年～2014年	60	2	5	7	10	15	5	7	5	2	5	10	7	2	3	7	2	0	0	0	3	5	
	2015年～2023年	41	10	17	22	15	12	7	5	5	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
年代	20代	24	17	0	25	8	13	4	4	0	0	0	0	0	0	4	4	4	0	0	0	4	13	
	30代	56	14	9	18	13	11	0	7	0	4	5	7	5	0	2	2	0	0	0	0	2	2	
	40代	32	22	13	13	3	16	6	3	3	3	0	6	3	3	0	6	0	0	0	0	0	0	
	50代以上	20	20	20	0	10	0	15	0	25	5	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
性別	男性	101	17	10	16	11	12	4	3	5	4	2	5	3	1	1	2	0	0	0	0	1	4	
	女性	30	17	10	13	3	7	7	10	3	0	3	3	7	0	3	7	3	0	0	0	3	0	

- ◆ 協働内容は「経営戦略・中期事業計画策定」が70%で最も高く、ついで「組織体制整備・ガバナンス」が続く。
- ◆ 2015年以降は「広報・PR」「ITインフラ整備」が高くなる。

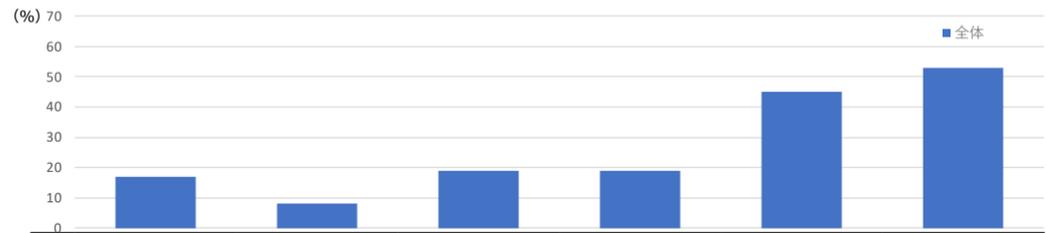
Q14_あなたは以下の各団体との協働で、どのような内容に関わりましたか？【3団体計】（MA）



協働終了後の団体との関係性

- ◆ 協働終了後も、半数近くの人は何かしら協働した団体と関係がある。旧パートナーは「関係はあまりない」が69%で現パートナーより32pt高いが、「団体の理事やアドバイザーなどの役職に現在ついている」は22%で現パートナーより10pt高い。

Q18_現在、団体との関係はどうなっていますか？あてはまるものをお選びください。【3団体計】 (MA)

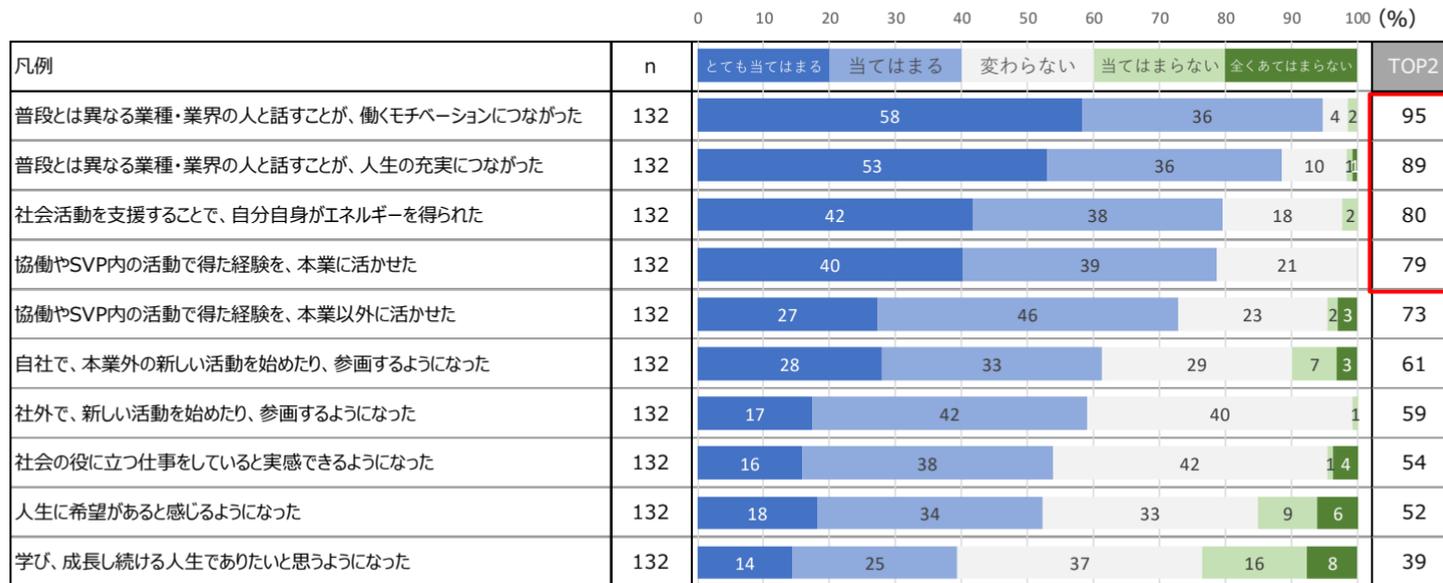


		n	団体の理事やアドバイザーなどの役職※に現在就いている	現在は就いていないが、団体の理事やアドバイザーなどの役職※に以前就いていた	役職には就いていないが継続的に事業に関わっている	イベント開催やクラウドファンディング実施など、特定のサポートが必要な際に協力している	ときおり連絡を取っている	関係はあまりない	(%)
全体		100	17	8	19	19	45	53	
P ステータス	現パートナー	49	12	8	33	27	57	37	
	旧パートナー	51	22	8	6	12	33	69	
協働 経験者	2005年～2014年	59	19	14	17	15	46	54	
	2015年～2023年	41	15	-	22	24	44	51	
年代	20代	17	18	18	6	18	53	41	
	30代	48	15	8	10	17	42	58	
	40代	21	10	5	38	33	43	52	
	50代以上	14	36	-	36	7	50	50	
性別	男性	76	17	8	21	17	46	50	
	女性	24	17	8	13	25	42	63	

SVPでの活動の生活や仕事への影響

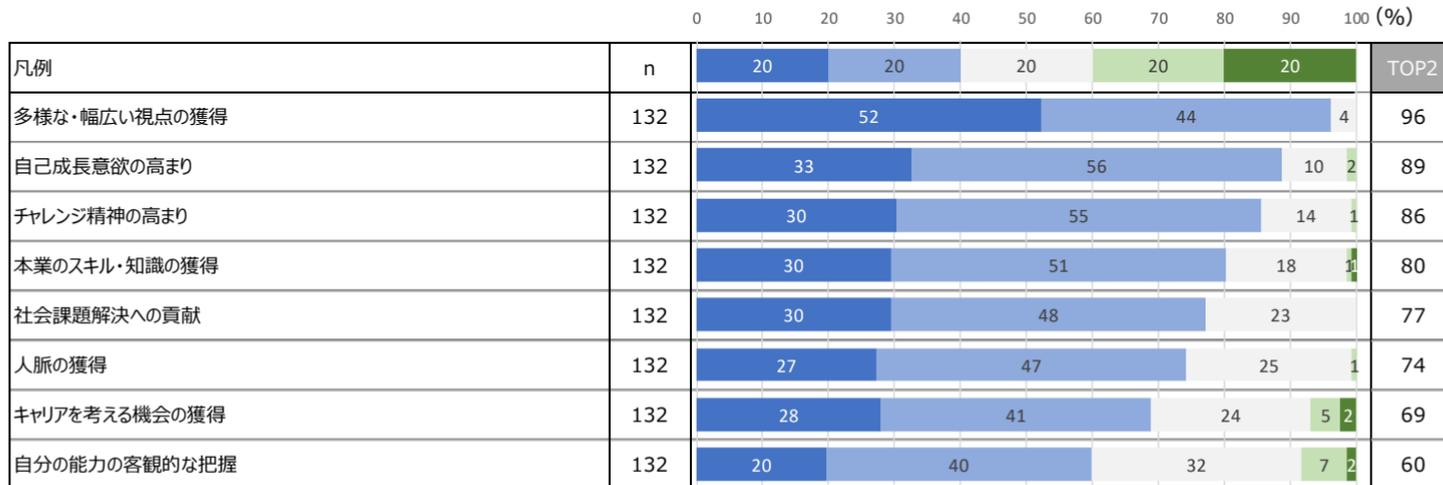
- ◆ 自身の生活や仕事への影響では、「普段とは異なる業種・業界の人と話すことが、働くモチベーションにつながった」のTOP2が95%で非常に高い。次いで、「人生の充実につながった」や「エネルギーを得られた」なども8割を超えて高い。
- ◆ 「協働やSVP内の活動で得た経験を、本業に活かせた」も79%と高い。

Q19_1_SVP東京での活動は、あなた自身の生活や仕事へ、どのような影響をもたらしましたか？（各SA）



- ◆ SVPでの活動での自信の成長や変化としては、「多様な・幅広い視点の獲得」がTOP2で96%と非常に高い。
- ◆ 「自己成長意欲の高まり」や「チャレンジ精神の高まり」「本業のスキル・知識の獲得」もTOP2で8割を超える。

Q24_SVP東京での活動によって、あなた自身にどのような成長や変容がありましたか？（各SA）



SVPの活動の難しさ・不満

- ◆ SVPの活動の難しさ・不満としては「本業との両立が難しい」がTOP2で64%で最も高い。次いで「本業以外との両立が難しい」「自らのスキルが不足している」が続く。
- ◆ 「社会貢献できているという実感が無い」は7%に留まる。

Q25_SVP東京での活動において、どのような難しさや不満がありますか？ (各SA)

